

委員会の審査から

委員会録画中継は
こちらから



町田市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

総務

3月18日・25日に議案9
件の審査を行いました。

令和8年度(2026年
度)町田市一般会計予算
〈メディアプロモート〉

委員 委託先と、25年度との連続性、26年度に行う内容の見込む効果は。

広報課担当課長 26年度については入札中です。事業の効果としては、メディアプロモートが新聞、テレビ、ウェブなどに取り上げてもらうために町田市の魅力売り込で番組化、記事化してもらうというところですが、25年の今のところの効果としては、広告換算費というもので評価をすると、実績は8億8000万円程度、内訳で言いますと、テレビが16本、雑誌が2本という形になっています。26年度についても、テレビや番組に取り上げていただくよう、続けていく予定です。

委員 26年度については入札ということだが、内容としては同じような内容なのか。

広報課担当課長 仕様としては基本的には同じですが、1つ追加しているものでは、メディアアツアという町田市の魅力を取り上げていただくために、記者さんたちを町田のツアーにお連れするというものを盛り込んでいます。

令和8年度(2026年
度)町田市一般会計予算
〈オープンデータファクトリーまちだ〉

委員 オープンデータファクトリーまちだの利用者数の想定と利用者層の想定は。

デジタル戦略室課長 大きくは職員、市民、また事業者、あらゆる方にお使いいただく想定としています。利用件数ですが、都の補助も頂いてやっているんですが、そこでのKPIとしては月間で3000アクセス以上想定をしているところなんです。

委員 どこもそうだが、たどり着き方というのか、そこに行くまでが結構ハードルが高い。そこはどう考えているのか。

デジタル戦略室課長 AIナビゲーターがありますので、そこからしっかりデータ連携させて統一的に、そのAIナビゲーターを聞けば、オープンデータのところもちゃんと飛べるように、また、情報としても飛ばして同じ画面で使えるようになっていくと、使いやすいんじゃないかなというふうに、そういう方向も検討しているところです。

健康福祉

3月18日に議案10件、請願1件の審査を行いました。

令和8年度(2026年
度)町田市一般会計予算
〈生活保護費〉

委員 生活保護費のところですが、13年度に行った生活保護費の削減に対して最高裁が行った取消し判決を受けて、追加給付の補正予算が成立した。対象世帯への生活保護費の追加給付を行うということが述べられているわけですが、

これが予算にどのように反映されているのか。今後、どう進めていくのかをお答えいただきたい。

生活保護課長 当初予算においては、主に経費として、コールセンターの設置運営業務委託料と、データの検証等の業務委託料を計上しています。当初の予定どおり、生活保護を町田市で受けられている、町田市で追加給付される方については7月中旬、既に廃止になられている方については、8月以降に支給できるように準備を進めているところになります。

委員 生活保護に現在なっている方というのは、例えば体の状態が、だんだん働く意欲が湧いてきたときに、市としては、ハローワークだったりとか、何かサービスというか、紹介するものがあるのか。

生活保護担当課長 働く意欲があっても職探しをしないという方へのサポートでありまして、町田市のほうでは、庁舎内に就労サポートまちだというハローワークの出張スペースがあります。そちらのほうで働きたい方ご本人と、ケースワーカーのほうと、あとハローワークから出向でそこに常駐している方でいろいろ相談に応じながら、就労に対するニーズを聞きながら就労支援を行っているような形になっていきます。

委員 生活保護受給者の自立を助長するため、健全育成・自立促進事業を行いますということだが、具体的にどんなことを行うのか。

生活保護課長 精神的に疲れてしまったとか、悩み事も多く抱えている方については、適切に医療機関につなぐために、カウンセラーが必要な場

合がありますので、そういった経費を計上したり、転居された場合、鍵を新たに作らなければいけない場合が多くありますので、その費用について計上させていただいているところになります。

文教社会

3月18日・19日・25日に
議案6件、請願4件の審査を行いました。

令和8年度(2026年
度)町田市一般会計予算
〈朝の子どもの居場所づくり事業〉

委員 どうやってこの事業を決めていかれたのか。

学校運営支援担当課長 共働きとかそういった社会事情の変化により、子どもが1人で登校時間前まで家にいなければいけないという社会課題を解決したいというところがあります。あと、教員の働き方改革もあり、登校時間前に学校に児童が来るというところで、先生方が勤務の時間前に対応してきたところがあります。保護者の方からの声に

よると、暑い時期などは校庭で待たなければいけないというような安全面の課題を受け、あと25年に保護者のアンケートを設けまして、実施しているところと検討したものです。

委員 ほかの自治体での導入事例の課題に関しては把握されているか。

学校運営支援担当課長 26市を主に見させていただいて、25年度現在2市で全校で行っているところなんです。ほか6市については、一部で実施してい

る現状になっていきます。大きな課題はないんですけども、シルバーの方、地域の方が担い手として見守りしていただく中で、熱が出てしまったとか、嘔吐があったとか、トラブルといったものはあります。

令和8年度(2026年
度)町田市一般会計予算
〈町田木曾山崎パラアリーナ整備・運営事業〉

委員 想定されている利用者団体はあるか。

スポーツ振興課担当課長 視覚に障がいを持たれた団体だったり、足に障がいを持たれた方、例えばブライインドサッカー、車椅子バスケット、車椅子のハンドボール、そういったものを想定しています。

委員 市民の方や団体の方が使われる会議室などといった部屋を造る予定はあるか。

スポーツ振興課担当課長 本事業の概要には、メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニングルーム、カームダウン・クールダウンエリアと記載がされていますが、要求水準書において、会議やヨガ等に活用することができるとして、現在設計において検討中となっています。

建設

3月18日・19日・25日に
議案9件、請願2件の審査を行いました。

令和8年度(2026年
度)町田市一般会計予算
〈ごみ収集費〉

委員 新しい収集が始まる

ので昨年度比では増額ということだが、今後も費用面としては増加していくのか。

ごみ収集課長 容器包装プラスチックも可燃ごみの中に多く含まれているので、容器包装プラスチックの分別収集が始まると可燃ごみ自体は減ると思いますが、町田市の場合は個別に収集していますので、収集にかかる委託料が大幅に減ることはないと考えています。

委員 将来的に回収の回数を減らす検討は。

ごみ収集課長 ごみの量が、今後、プラスチックだけではなくて、製品の世の中の開発状況によっても変わってくる可能性がますます、ごみ自体が減っていく方向になってくるといって思っていますので、収集の体制であったり、回数には常に見直していく必要があるのかと思っています。

委員 資源とごみの収集力レンダラーは、配布件数やページ数も変わらずに運用しているのか。

ごみ収集課長 ページ数はほとんど変わっていないです。ただ、25年度に限っては容器包装プラスチックが始まるので、お知らせの案内ページを1つ増やしています。アンケートを取ってみると、カレンダーでごみの出し方を確認するという回答が多いので、市民の方の役に立っているものかと思えますので、しばらくはこの形でいきたいと思えます。ただ、デジタル化がどんどん浸透してきたときに、このままいくのかは考える必要があるのかもしれない。

委員 容器包装プラスチックの回収回数を週1回にした理由は。

ごみ収集課長 基本的には

委員会 で 附帯決議

建設常任委員会では、付託された案件のうち、第9号議案令和8年度(2026年度)町田市一般会計予算について、原案を可決すべきものと決し、採決終了後に左記の附帯決議を付すべきものと決しました。

記

第9号議案に対する附帯決議

野津田公園スポーツの森整備事業(スケートパーク整備)については、請願第8号が継続審査とされた趣旨を踏まえ、当該請願において求められている事項について引き続き十分な検討を行うため、予算計上をもって直ちに整備工事に着手することなく、執行にあたっては一時的に立ち止まり、市民との十分な協議の場を設けられたい。

本会議の結果

3月25日の本会議において、第9号議案は賛成多数を持って可決されました。